

## 単元名 2 多様な視点から 一文法への扉1 単語をどう分ける？

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 自立語にどのような品詞があるのかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めることができる。  
(3) 今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとする。

## 標準的な展開例

11210112\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教材文を読み、単語は幾つかの観点で分類されることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>o p. 59の導入や解説を読み、単語が幾つかの観点で分類されることを確かめ、そのうち「自立語」について学ぶことを理解する。</li> <li>o 「文法 一年生の復習」(p. 232～p. 233)を参考に、一年生で学習した文法の確認をする。</li> <li>o 本時の学習課題をつかむ。</li> </ul> <p>★活用する自立語について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>o 教科書(p. 234)を参考に、活用する自立語の性質を確認する。</li> <li>o 練習問題に取り組む。</li> </ul> <p>2 文法1「自立語」(p. 233～p. 237)を読み、自立語の各品詞の性質などについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>o 本時の学習課題をつかむ。</li> </ul> <p>★活用しない自立語について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>o 教科書(p. 235～p. 237)を参考に、各品詞の性質を確認する。</li> <li>o 練習問題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に、3「単語の分類」は今回の学習の基礎となるので、しっかり確認をする。</li> <li>・形容詞と形容動詞の区別が難しい生徒がいると思われるので、丁寧に確認しておきたい。</li> </ul> <p>【評】活用とは何か理解し、活用する自立語についての練習問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の活用する自立語について思い返させ、本時では活用しない自立語を学習することを伝える。</li> <li>・それぞれの自立語について、おおまかな文の中での役割を確認する。</li> </ul> <p>【評】自立語の性質を理解し、練習問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

この単元では、第1学年での学習を踏まえ、文章の構成や展開のしかた、事実と意見の示し方に注意しながら、説明の工夫に気付き、書き手の意図や主張を理解することを目的としている。また、自分の提案が、相手に興味・関心をもたれるには、どのような工夫をすればよいのかを考えさせる。説明文の工夫の読み取りとも関連づけながら、プレゼンテーションに必要な材料の集め方、資料や機器などの効果的な使い方を考えさせたい。